

宮古市「復興に向けた計画づくりに関するアンケート調査」結果 【田老地域版】

1. 調査概要及び回収状況

(1) 調査概要

調査方法：郵送による配布、回収
 調査期間：発送 平成23年7月8日 回答の返送締切 平成23年7月26日
 対象者：被災地域及びその周辺の各世帯
 配布数：【市全体】6,644世帯【田老地域】1,172世帯

(2) 回収状況(平成23年8月16日時点)

回収数：【市全体】3,200世帯【田老地域】654世帯
 回収率：【市全体】48.2% 【田老地域】55.8%

2. 集計結果(田老地域分)

(1) 回答者の属性

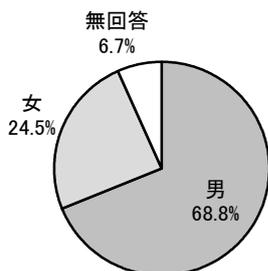
問1：世帯の代表の方についてお聞きします。
 それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

- 世帯の代表の方にお答えいただいたことにより、「男性」、「70歳代以上」の回答者が多くなっています。また、二世帯世帯、一世帯世帯、単身世帯の順に多くなっています。

ア：性別

	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
男	2,172	67.9%	450	68.8%
女	814	25.4%	160	24.5%
無回答	214	6.7%	44	6.7%
計	3,200	100.0%	654	100.0%

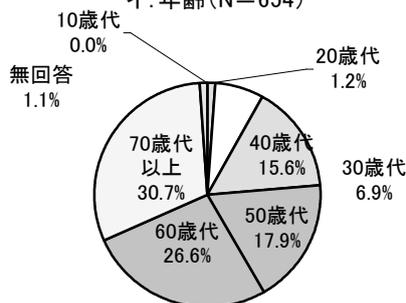
ア：性別(N=654)



イ：年齢

	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
10歳代	1	0.0%	0	0.0%
20歳代	51	1.6%	8	1.2%
30歳代	218	6.8%	45	6.9%
40歳代	393	12.3%	102	15.6%
50歳代	572	17.9%	117	17.9%
60歳代	875	27.3%	174	26.6%
70歳代以上	1,050	32.8%	201	30.7%
無回答	40	1.3%	7	1.1%
計	3,200	100.0%	654	100.0%

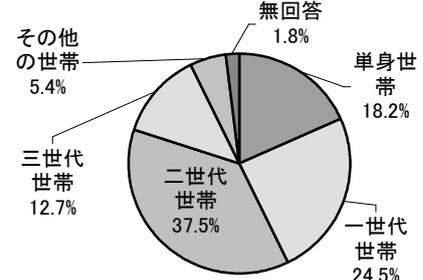
イ：年齢(N=654)



ウ：現在の家族構成

	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
単身世帯	592	18.5%	119	18.2%
一世帯世帯	786	24.6%	160	24.5%
二世帯世帯	1,142	35.7%	245	37.5%
三世帯世帯	425	13.3%	83	12.7%
その他の世帯	194	6.1%	35	5.4%
無回答	61	1.9%	12	1.8%
計	3,200	100.0%	654	100.0%

ウ：現在の家族構成(N=654)



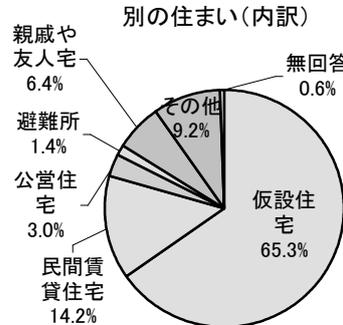
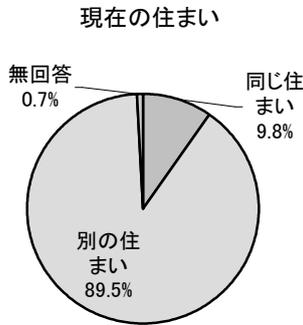
- 現在のお住まいが震災前とは別の方においては、「仮設住宅」が約65%と最も多くなっています。

エ:現在の住まい

	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ住まい	993	36.8%	55	9.8%
別の住まい	1,672	61.9%	501	89.5%
無回答	35	1.3%	4	0.7%
計	2,700	100.0%	560	100.0%

	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
仮設住宅	793	47.4%	327	65.3%
民間賃貸住宅	368	22.0%	71	14.2%
公営住宅	78	4.7%	15	3.0%
避難所	33	2.0%	7	1.4%
親戚や友人宅	177	10.6%	32	6.4%
その他	214	12.8%	46	9.2%
無回答	9	0.5%	3	0.6%
計	1,672	100.0%	501	100.0%

※[エ]で「別の住まい」と回答した1,692人(田老501人)を対象



- 震災前に仕事に就いていた方の職業は約19%が「漁業」で、職場については約50%が「田老」となっています。
- 震災前に仕事に就いていた方のうち、震災後に何らかの変化（休業、廃業、退職、失業）があったと回答した方は、約40%となっています。

オ:震災前の仕事

	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業	28	0.9%	7	1.1%
漁業	371	11.6%	124	19.0%
製造業・建設業	447	14.0%	81	12.4%
販売・サービス業	618	19.3%	99	15.1%
公務員・団体職員	280	8.8%	75	11.5%
主婦(夫)	137	4.3%	31	4.7%
学生	1	0.0%	0	0.0%
無職	985	30.8%	174	26.6%
その他	263	8.2%	51	7.8%
無回答	70	2.2%	12	1.8%
計	3,200	100.0%	654	100.0%

カ:震災前の職場の場所

	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
宮古	418	20.1%	42	9.4%
愛宕・光岸地	51	2.5%	2	0.4%
鎌ヶ崎	144	6.9%	6	1.3%
藤原・磯鶏	177	8.5%	11	2.4%
高浜	34	1.6%	1	0.2%
金浜	26	1.3%	0	0.0%
崎山	37	1.8%	10	2.2%
津軽石	78	3.8%	4	0.9%
赤前	66	3.2%	1	0.2%
重茂	59	2.8%	0	0.0%
田老	233	11.2%	223	49.7%
その他宮古市	141	6.8%	22	4.9%
県内	85	4.1%	14	3.1%
県外	43	2.1%	7	1.6%
無回答	486	23.4%	106	23.6%
計	2,078	100.0%	449	100.0%

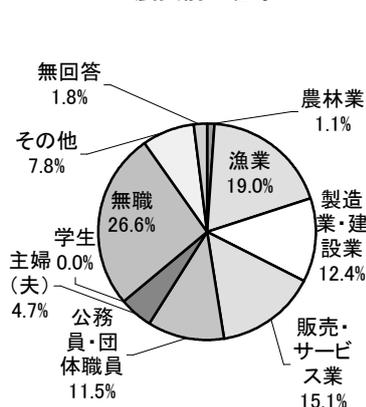
※[カ]の主婦(夫)、無職を除いた2,078人(田老449人)を対象

キ:震災後の仕事の変化

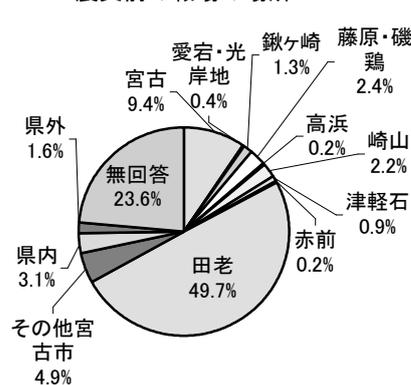
	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
休業	396	19.1%	86	19.2%
廃業	138	6.6%	34	7.6%
退職	99	4.8%	16	3.6%
失業	182	8.8%	48	10.7%
変化なし	895	43.1%	175	39.0%
その他	182	8.8%	40	8.9%
無回答	186	9.0%	50	11.1%
計	2,078	100.0%	449	100.0%

※[キ]の主婦(夫)、無職を除いた2,078人(田老449人)を対象

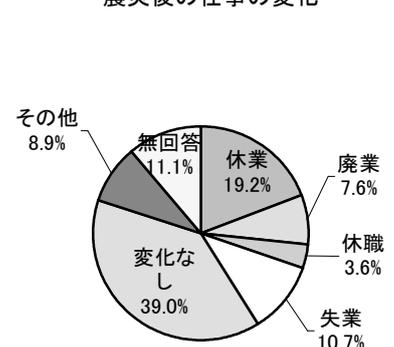
震災前の仕事



震災前の職場の場所



震災後の仕事の変化



(2) 震災前の住まい、今後の住まいについて

問2：震災前のお住まいについてお聞きします。

それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

問3：今後の住まいをどのようにお考えですか。

- 震災前の住まいのほとんどが「持ち家」となっています。
- 住まいの被害については、「流出」の被害を受けている方が、回答者の半数以上を占めています。
- 今後の住みたい場所については、「近くの高台など」に住みたいと考えている方が47.1%と高い割合を占めています。(4ページ)
- 住みたい場所の理由は「津波被害を受けたくない」「離れたくない」が多くなっています。(4ページ)
- 今後の住まいとしては、約半数が「新築」となっています。(4ページ)
- 住みたい場所と考えている住まいをクロス集計すると、「近くの高台」で「新築」が最も多く、約27%となっています。(4ページ)

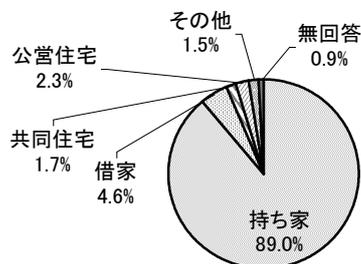
ウ：震災前の住まいの種類

	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
持ち家	2,639	82.5%	582	89.0%
借家	225	7.0%	30	4.6%
共同住宅	218	6.8%	11	1.7%
公営住宅	26	0.8%	15	2.3%
その他	41	1.3%	10	1.5%
無回答	51	1.6%	6	0.9%
計	3,200	100.0%	654	100.0%

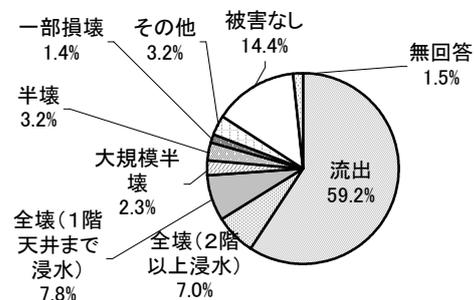
エ：住まいの被害

	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
流出	853	26.7%	387	59.2%
全壊(2階以上浸水)	307	9.6%	46	7.0%
全壊(1階天井まで浸水)	524	16.4%	51	7.8%
大規模半壊	408	12.8%	15	2.3%
半壊	305	9.5%	21	3.2%
一部損壊	147	4.6%	9	1.4%
その他	83	2.6%	21	3.2%
被害なし	500	15.6%	94	14.4%
無回答	73	2.3%	10	1.5%
計	3,200	100.0%	654	100.0%

震災前の住まいの種類



住まいの被害



ア-1:住みたい場所

	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ場所	990	36.7%	89	15.9%
近くの高台など	753	27.9%	264	47.1%
市内	639	23.7%	146	26.1%
市外	99	3.7%	23	4.1%
その他	72	2.7%	18	3.2%
無回答	147	5.4%	20	3.6%
計	2,700	100.0%	560	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(田老560人)を対象

ア-2:考えている住まい

	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
既に補修	488	18.1%	17	3.0%
補修予定	269	10.0%	13	2.3%
新築	811	30.0%	273	48.8%
民間賃貸	89	3.3%	8	1.4%
公営住宅	176	6.5%	62	11.1%
未定	486	18.0%	133	23.8%
その他	82	3.0%	14	2.5%
無回答	299	11.1%	40	7.1%
計	2,700	100.0%	560	100.0%

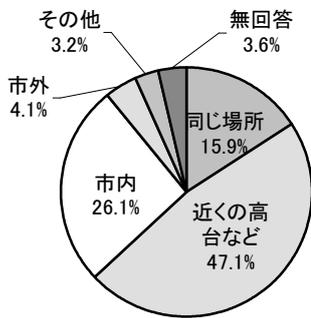
※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(田老560人)を対象

イ:理由(複数回答)

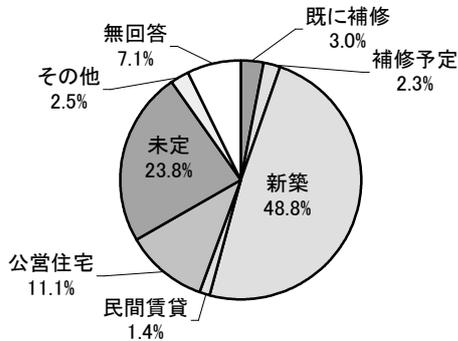
	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
離れたくない	1,441	53.4%	314	56.1%
仕事場が近い	442	16.4%	93	16.6%
生活に便利	871	32.3%	133	23.8%
津波被害を受けたくない	1,037	38.4%	316	56.4%
近所づきあい	640	23.7%	126	22.5%
子どもの教育環境	229	8.5%	52	9.3%
早く住宅確保	812	30.1%	212	37.9%
費用がかかる	797	29.5%	160	28.6%
その他	121	4.5%	22	3.9%
無回答	143	5.3%	22	3.9%
計	6,533		1,450	

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(田老560人)を対象

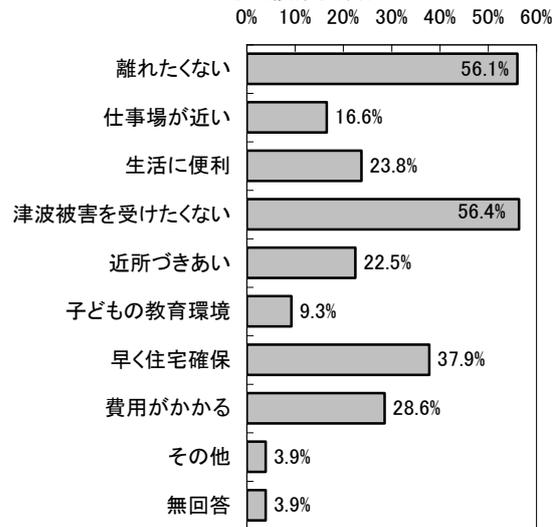
住みたい場所



考えている住まい



理由(複数回答)



住みたい場所×考えている住まいのクロス

11. 田老 住みたい場所	考えている住まい								計
	既に補修	補修予定	新築	民間賃貸	公営住宅	未定	その他	無回答	
同じ場所	12 2.1%	9 1.6%	40 7.1%	0 0.0%	4 0.7%	14 2.5%	2 0.4%	8 1.4%	89 15.9%
近くの高台など	4 0.7%	3 0.5%	153 27.3%	1 0.2%	37 6.6%	52 9.3%	1 0.2%	13 2.3%	264 47.1%
市内	0 0.0%	1 0.2%	65 11.6%	5 0.9%	19 3.4%	50 8.9%	2 0.4%	4 0.7%	146 26.1%
市外	0 0.0%	0 0.0%	9 1.6%	1 0.2%	1 0.2%	6 1.1%	4 0.7%	2 0.4%	23 4.1%
その他	0 0.0%	0 0.0%	5 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	9 1.6%	4 0.7%	0 0.0%	18 3.2%
無回答	1 0.2%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.2%	1 0.2%	2 0.4%	1 0.2%	13 2.3%	20 3.6%
計	17 3.0%	13 2.3%	273 48.8%	8 1.4%	62 11.1%	133 23.8%	14 2.5%	40 7.1%	560 100.0%

(3) 今後の不安、備えについて

問4：これからの暮らしにおいて、不安なことについてお聞かせください。

問5：あなた自身で、今回の震災をきっかけに今後どのような備えをしたいと思いますか。

- 今後の不安としては、「住宅の確保」が約57%と多く、次いで「余震・二次災害」、「医療・介護施設利用が不便」となっています。
- 今後の備えとしては、「家族での話し合い」、「非常時持出袋」が多くなっています。

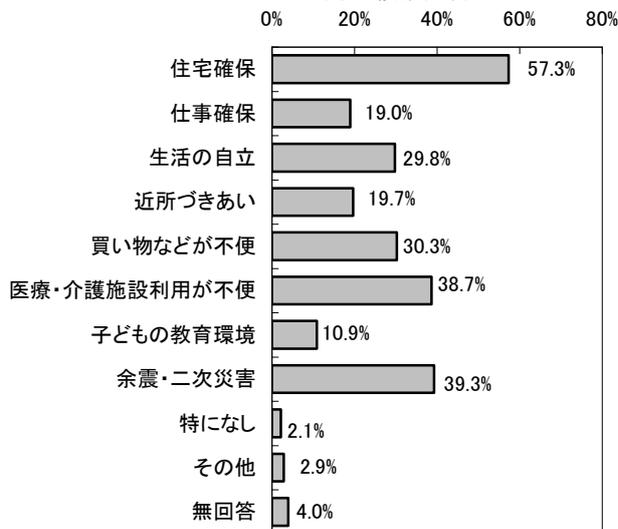
問4:これからの不安(複数回答)

	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
住宅確保	1,208	37.8%	375	57.3%
仕事確保	551	17.2%	124	19.0%
生活の自立	947	29.6%	195	29.8%
近所づきあい	526	16.4%	129	19.7%
買い物などが不便	806	25.2%	198	30.3%
医療・介護施設利用が不便	817	25.5%	253	38.7%
子どもの教育環境	310	9.7%	71	10.9%
余震・二次災害	1,705	53.3%	257	39.3%
特になし	154	4.8%	14	2.1%
その他	104	3.3%	19	2.9%
無回答	173	5.4%	26	4.0%
計	7,301		1,661	

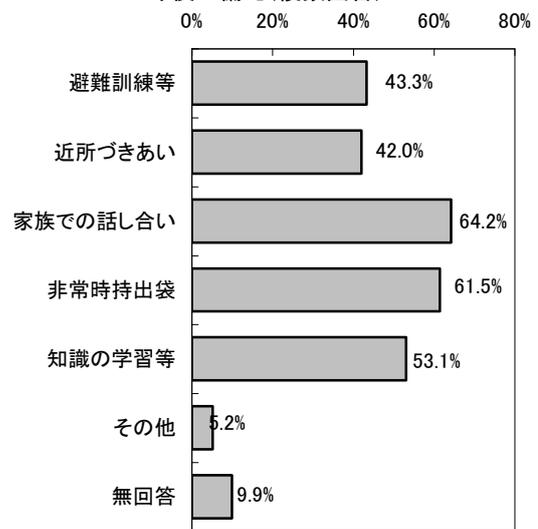
問5:今後の備え(複数回答)

	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
避難訓練等	1,298	40.6%	283	43.3%
近所づきあい	1,406	43.9%	275	42.0%
家族での話し合い	2,043	63.8%	420	64.2%
非常時持出袋	1,970	61.6%	402	61.5%
知識の学習等	1,502	46.9%	347	53.1%
その他	128	4.0%	34	5.2%
無回答	333	10.4%	65	9.9%
計	8,680		1,826	

これからの不安(複数回答)



今後の備え(複数回答)



(4) 復興に向けた今後の施策について

問6：現在、宮古市では復興に向けた計画づくりに向け、次の3つの分野で施策の検討を進めています。「すまいと暮らしの再建」「産業・経済復興」「安全な地域づくり」それぞれの分野について、大切であると思うことは何ですか。特に、当てはまるもの3つまでの番号を記入してください。また、施策に対するお考えや提案などがありましたらお書きください。

- 「すまいと暮らしの再建」に関しては、回答者の約70%が「住宅再建への支援」を選択し、次いで「経済的な支援など生活再建に向けた取り組み」が多くなっています。
- 「産業・経済復興」に関しては、「(施設の復旧、生産者支援、魚市場整備等の) 漁業振興

に向けた取り組み」が最も多く、ついで「農林業振興」が高い割合となっており、1次産業の復興が重視されています。

- 「安全な地域づくり」に関しては、「防潮堤や湾口防波堤等のハード整備に向けた取り組み」が最も多く、次いで「(道路や公共交通の再整備など災害に強い) 交通網の形成に向けた取り組み」が多くなっており、ハード整備の取り組みが求められています。

ア:すまいと暮らしの再建(複数回答)

	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
経済的な支援等	1,706	53.3%	334	51.1%
住宅再建支援	1,717	53.7%	456	69.7%
健康の維持	443	13.8%	72	11.0%
医療体制の確保	1,067	33.3%	269	41.1%
児童・生徒の心のケア	239	7.5%	34	5.2%
学校教育環境の整備	370	11.6%	80	12.2%
生涯学習等の環境整備	137	4.3%	23	3.5%
雇用の場の確保	1,139	35.6%	238	36.4%
地域コミュニティ	421	13.2%	90	13.8%
無回答	433	13.5%	72	11.0%
計	7,672		1,668	

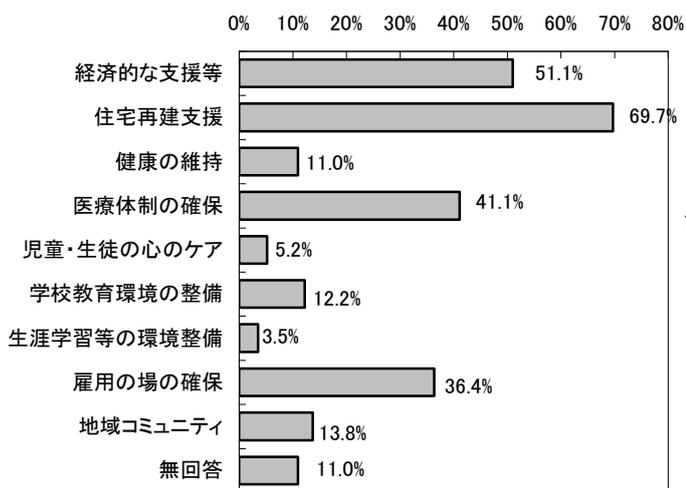
イ:産業・経済復興(複数回答)

	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業振興	967	30.2%	221	33.8%
漁業振興	1,522	47.6%	380	58.1%
製造業振興	815	25.5%	176	26.9%
商業・サービス業振興	881	27.5%	190	29.1%
観光振興	467	14.6%	67	10.2%
港湾振興	489	15.3%	147	22.5%
産業創出	689	21.5%	133	20.3%
事業創出	438	13.7%	95	14.5%
無回答	746	23.3%	144	22.0%
計	7,014		1,553	

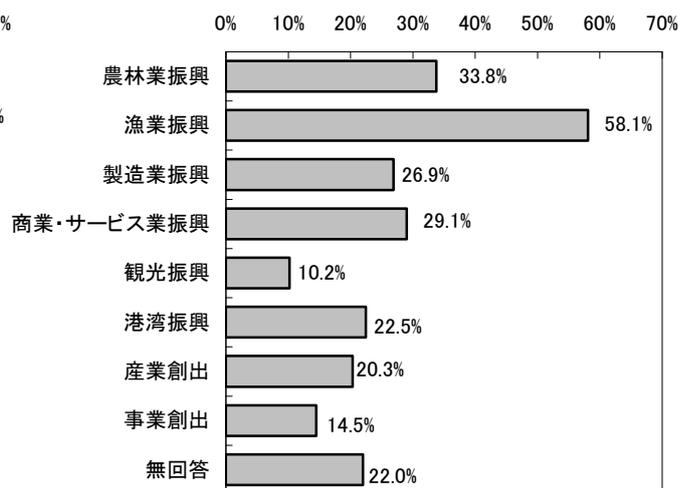
ウ:安全な地域づくり(複数回答)

	全体		田老	
	回答数	割合	回答数	割合
防波堤等	1,838	57.4%	398	60.9%
交通網整備	1,717	53.7%	355	54.3%
土木施設復旧	1,361	42.5%	329	50.3%
地域防災力	444	13.9%	108	16.5%
情報伝達・避難計画	872	27.3%	190	29.1%
災害記憶継承	277	8.7%	63	9.6%
自然エネルギー	545	17.0%	94	14.4%
無回答	515	16.1%	93	14.2%
計	7,569		1,630	

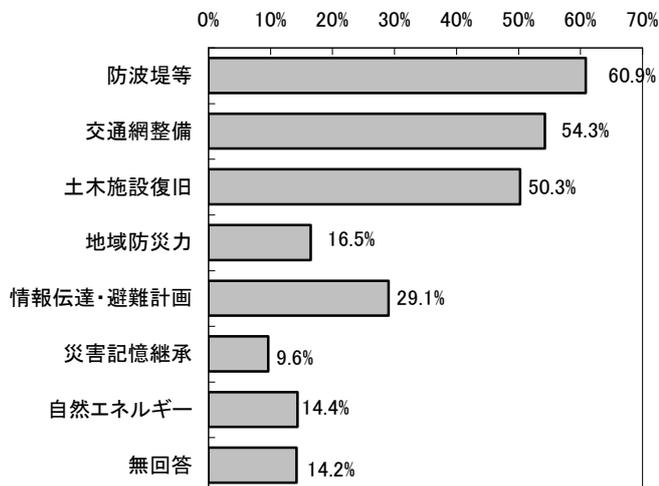
すまいと暮らしの再建(複数回答)



産業・経済復興(複数回答)



安全な地域づくり(複数回答)



■ 主な自由意見（原文要約）

- ・ 住まいとくらしの再建に関して、「住宅確保に対する不安」などについての意見があります。
- ・ 産業・経済復興に関して、「漁業の復旧」、「観光復興や特産品開発」などについての意見があります。
- ・ 安全な地域づくりに関して、「安全な住宅地」、「道路整備」などについての意見があります。
- ・ その他として、「被災者、子どもたちへのケア」などについての意見があります。

住まいとくらしの再建について	
1	たとえ代替地があっても、そこへ居住していくことが困難な人達が相当でてる。
2	高齢者の住居対策として、高層の公営住宅を設置してはどうか。
3	早く船を購入したい、浜に出たい。
4	中高年者の長期雇用を確保してほしい。
5	住宅や事業経営にかかる二重ローンの解消策が必要。
6	少子高齢化である現実も考え計画づくりをしてほしい。
7	学校だけでなく地域一丸となってこれからの将来を背負っていく子供達を支え、育てなければならぬ。
8	なんとか医師を確保してほしい。田老に病院が無いなんて事にならないようにしてほしい。
産業・経済復興について	
1	店舗、事業者、漁業者等にも義援金を出して良いのではないか。
2	スーパーマーケットの早期設立、郵便局・銀行の早期復旧が必要。
3	水産業の復活と個人商店等の復活が重要。
4	海産物の生産加工を主とした復興再建が必要。
5	復興に向け更なる特産物の開発を強化してほしい。
6	観光や地産地消のため、遠洋漁業ばかりではなく沿岸の魚をとることも必要。
安全な地域づくりについて	
1	津波の影響を受けない安心できる住宅が必要。
2	田老地区の防波堤内建築確認の早期結論が必要。
3	高台に今までの町（田老町）の人々と一緒に新しい町をつくりたい。
4	線路を歩きたくないので、山のほうに三陸道か田老道路のような道路が必要。
5	山に向かう道を何本かつけてほしい。宮古や岩泉までの山道（迂回路）を整備してほしい。
6	今住んでいる仮設住宅（田老、西向山）にもバス停がほしい。
7	学校、施設、役所なども被害を受けない場所に移転してほしい。
8	東日本大震災以上の災害を想定して、防災計画の見直しが必要。
9	災害に強い町づくり」をハード面だけの整備ではなく、ソフト面も併せて整備してほしい。
10	情報インフラを強化して、インターネット環境を良くしてほしい。AMラジオの難聴地域をなくしてほしい。
その他	
1	家が残った人には情報が全くなく、物資や電気も来ない。
2	仮設の入居期限をずっと先に伸ばしてほしい。
3	津波被害を受けた土地の今後の利用についても早く知らせてほしい。
4	雇用がない限り、宮古から人が居なくなる。
5	ストレスなど心のケアは、仮設などで重点的に行っているが、家で生活している者も、ケアしてほしい。
6	子どもたちのケアも大事。本当の意味で復興は、今の子どもたちが大人になった時に。
7	家が流されても、仕事さえあれば生きていけるし食べていける。また、公営住宅への取組みもぜひ確実に進めてほしい。
8	広報の入手もむずかしく、情報もわからない。いちばん必要な被災者が入手出来ていない。
9	大事なことは、早期に計画を実現することであり、行政が決断し行動してほしい。
10	少数意見でも吟味してほしい。

MEMO

A large rectangular area with rounded corners, enclosed by a double-line border. The interior is filled with horizontal dashed lines, providing a template for writing a memo.